

Ciao, l'italiano.

チャオ、イタリア語

大学で何か新しいことに挑戦したい人におすすめの外国語。

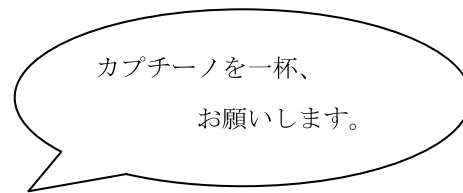
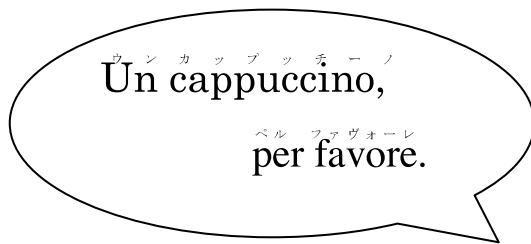
それは俄然「イタリア語」です！

でも、どんな言葉なのか、それに勉強していいことがあるのか、と思う人もいるかもしれません。

こうした疑問を解消するために、イタリア語のいいところを少し紹介しましょう。

・イタリア語のいいところ その1

発音が簡単！ ローマ字読みで大丈夫。ものはためしに、カプチーノを頼んでみましょう。



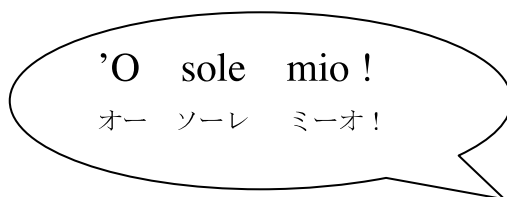
日本語と同じく、母音（アイウエオ）がしっかりした言葉ですから、そのまま大きな声でいえば問題なしです。



カプチーノ(cappuccino)

・イタリア語のいいところ その2

健康にいい！（かもしれない） ここは日本語と違う点ですが、イタリア語はおなかから声を出す言葉です。



みなさんも一度は歌ったことがある、ナポリ民謡「オー・ソーレ・ミーオ」。

「私の太陽」という意味ですが、

サビの気持ちよさは、イタリア語の音楽性の証です。

イタリアがプッチーニ『ラ・ボエーム』、ヴェルディ『アイーダ』をはじめオペラ（opera）の傑作をたくさん生み出したのも、言葉の特性と無関係ではありません。

だから、イタリア語を話せば、きっと楽しいはず。

・ イタリア語のいいところ その3

古典芸術からサッカーまで、情報を得ることができる！

古代ローマ帝国から、ルネサンス、そしてオペラ…

イタリア文化は古く、世界から熱いまなざしが注がれてきました。



ポンペイのフレスコ画



ボッティチェッリ『聖母子と天使像』(1465-1467)



プッチーニ作オペラ『ラ・ボエーム』(1896)

現在は、料理 (**cucina**)、ファッション (**moda**)、そしてサッカー (**calcio**) と、わたしたちの日常生活にイタリア文化は溶け込んでいます。

料理のレシピ (**ricetta**) を調べたり、本場のサッカー情報を仕入れたりするには、イタリア語を知っていたほうが、楽しく、お得です。



ピッツァ (**pizza**)

このように、魅力的なイタリア語ですが、イタリア語のクラスを開講している大学は、じつはそう多くありません。新潟大学に入学したあなた、この貴重な機会にぜひ挑戦してみてください。

Studiamo l'italiano insieme!

一緒にイタリア語を勉強しましょう！